

# Nishidaizu



6 | 広報にしあいづ  
June. 2017 (平成29年) No.704



きらめく音色に はじける笑顔  
- 菜の花まつりから -

もりい  
特集 森林を活かす P 2 ~ P 7

P 8 再確認!ごみの出し方

P 10 まちの話題  
西会津小学校大運動会 ほか

P 12 町からのお知らせ&ニュース  
平成29年度自治区長会議、町長選挙日程 ほか



特集  
もり  
森を  
い  
活かす



写真=伐採した木を薪に加工するためチェーンソーで  
玉切りする町森林組合の職員





▲本町の森林。昨年の高陽山山開きから

▼木質バイオマスボイラーの燃料となるチップ（上）とペレット（下）



## 価値を再確認したい森林

町の面積の約85%を占める本町の森林は、その8割が民有林となっており、県内市町村の中でも民有林の比率が高いのが特徴です。かつては主に家庭用の燃料として利用されていたため、天然林の割合が高く、77%が広葉樹となっています。

昭和40年代の前半ごろまでは、森林は家庭用の燃料として欠かせない資源だったためきちんと管理されていました。しかし、便利なガスや灯油の普及とともに、管理されない

森林が増加しました。

今、町にある針葉樹や広葉樹は、1年間に57,088立方メートル成長していて、これを燃やして得られる熱量は、灯油に換算するとドラム缶65,138本分に相当します。利用可能な資源がどんどん貯まっていますが、これを利用するためには、所有地の境界問題の解消や、伐採・搬出にかかる費用の捻出など、多くの課題があります。森林資源を生かすためには、みんなでのように活用するかを考えていかなければなりません。

## 森林資源で雇用創出

森林資源を活用して雇用を生み出すためには、川のように上流から下流までスムーズに流れることができる産業の仕組みをつくる必要があります。例えば、

森林の伐採・再造林作業（川上）を行ったら、切り出した木材を建築用材や燃料用チップ・ペレットに加工（川中）し、木材利用の促進、木質バイオマスボイラー導入による燃料消費を進めていく（川下）といった具合です。それぞれを単独で産業化することもできますが、それ

では安定した産業となりません。川上から川中へ、川中から川下へと、流れるように仕事がつながる仕組みをつくることで安定した産業化が図れ、それぞれの仕事で新たな雇用の創出が期待できます。

特に本町では、菌床キノコ栽培に新規に取り組む農家が 증가しているため、菌床生産に町内産の良質なオガ粉を使用すれば、大規模産地化に向けた取り組みが加速すると考えられます。

公共施設に木質バイオマスボイラーを導入しており、改修中の役場新庁舎にも導入を予定しています。菌床培養施設への導入など、農業分野での利用も積極的に推進し、今後公共施設などのボイラーを全て木質燃料に切り替えていくことになれば、町内の森林資源を使用し、安価に燃料を供給できる燃料生産施設を町内に整備する必要があります。そうなった場合、経営をより安定させるためには、菌床用オガ粉の生産・販売と組み合わせることが重要になってきます。こうした考え

また、町では西会津小学校やこゆりこども園、道の駅の「ミネラル野菜の家」などの



最新技術の3Dレーザー  
を使った森林の測定

3Dレーザーを使って  
幹周りや曲がり、材積  
(木材などの体積)を  
測定し、パソコン上で  
再現した仮想森林



## 森林資源活用型産業化計画策定委員会

た樹種の特定、オガ粉・燃料  
生産施設の整備方針などに  
ついて検討を重ねたほか、先  
進的な取り組みを行っている群  
馬県上野村と、福井県あわら  
市で先進事例の調査を実施し

から、町では、森林資源を活  
用した新たな雇用の創出と、  
地域資源の地産地消促進を目  
指し、平成28年度に「森林資  
源活用型産業化計画策定委員  
会」を設置して検討を行った  
ほか、国の交付金を活用して  
各種調査を実施しました。

委員会の設置に際し  
ては、平成26年度に策  
定した「木質エネル  
ギー地産地消計画」の  
策定委員会で委員長を  
務め、本町の状況に詳  
しい東北芸術工科大学  
の三浦秀一教授に委員  
長をお願いし、委員に  
は、森林組合や町内の  
製材業者、菌床キノコ  
生産者、公募による応  
募者を委嘱しました。

委員会の様子



この委員会では、利  
用可能な森林の選別や、  
菌床キノコ栽培に適し  
た樹種の特定、オガ粉・燃料  
生産施設の整備方針などにつ  
いて検討を重ねたほか、先  
進的な取り組みを行っている群  
馬県上野村と、福井県あわら  
市で先進事例の調査を実施し

また、オガ粉・燃料生産施  
設の整備に向けては、ひとつ  
の生産施設で菌床用と燃料用  
の木材加工を切り替えて行う  
ことにより初期費用を抑え、  
さらに燃料用の木材について  
は製材所から端材の供給を受  
けることで、安価な提供価格  
で安定した経営が可能である  
との試算がなされました。  
今年度は、引き続き具体的

ました。その結果、森林資源  
の利用にあたっては、オガ粉  
生産のために広葉樹を中心と  
した伐採、更新を進めること  
で、キノコ栽培に適した樹種  
を十分確保できることが分か  
りました。

## 森林資源の調査

森林資源を計画的に  
利用するためには、そ  
れがどれだけあるのか  
を正確に把握する必要  
があります。

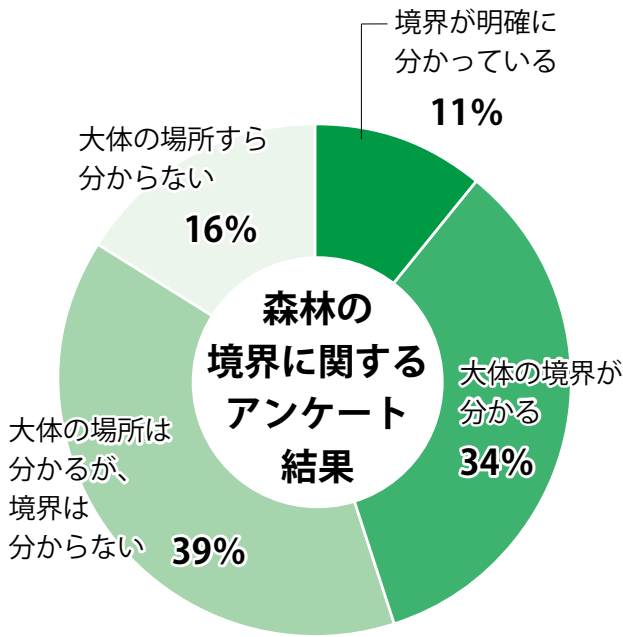
県が作成している森  
林の台帳によって森林  
の樹種や材積量を把握するこ  
とはできませんが、実際の森林  
は自然環境にあるため、樹種  
や木の太さが県の台帳と異な

先進事例の調査



な施設整備方針について検討  
を行い、詳細な事業計画を策  
定するとともに、必要な施設  
の整備に向け取り組んでいき  
ます。





る場合があります。もしこの台帳と現況が大きく違っていた場合、計画的な森林利用が進まない恐れがあることから、町では伐採現場の現地調査を実施したほか、町内3箇所最新技術の地上3Dレーザーを使った測定を行い、木材の効率的な利用方法を調査しました。その結果、約2割の箇所、樹種、材積、面積が異なっており、県の台帳と比較して人工林の割合が多いことが分かりました。

また、森林利用に際しては、所有地の境界が明確に分かることが分かりました。これがない場合、トラブルの原因となるため伐採できません。そこで、町ではさらに森林の所有者約1,500人を対象に、今後の森林利用に関する意向調査を含めた森林の管理方法などに関するアンケート調査を行い、森林所有者がどの程度所有地を把握しているかを調べました。

## 新たな用途「CLT材」

今回の調査では、新たな用途として注目されているCLT材（直交集成板）の適合試験も実施しました。CLT材とは、Cross Laminated Timber（クロス・ラミネイティド・ティンバー）の略称で、

ひき板を繊維方向が直交するように接着した木質系材料です。強度が高く、断熱性に優れた、従来では考えられなかった多層階の木造建築が可能となります。このCLT材は、曲がりや節の多い木材でも2メートルの長さを確保できれば接合して使用することができますため、利用効率が高く、地上3Dレーザーの測定結果では、調査した森林の6割以上がCLT材に使用可能でした。また、その強度は、他の地域で行った強度試験の結果と比較しても十分であり、将来、

により、所有地の境界を明確にすることが最初の課題であること、そして森林の約7割が何も管理されていないことが分かりました。



▲CLT材で建築された高知県梶原町の役場庁舎  
(写真提供=高知県梶原町)

## 菌床キノコ栽培の大規模産地化

豪雪地帯である本町において、冬期間に安定した所得を得ることが出来る菌床シイタケ栽培は、農林業振興の柱の一つであり、町では大規模産地化に向けた取り組みを進めています。今年度は、西林地内の旧葉タバコ育苗施設を改修し、菌床にしたいけの菌を行きわたらせる培養工程を行う施設とします。これにより、これまで生産者が自分のハウスで菌床を培養するために使っていたスペースを生産用に活用できるため、販売額の向上が期待できます。

また、今後も、生産者の負担を軽減するための菌床栽培用パイプハウスリース事業を継続して行い、若手農業者や、移住・定住者が農業に取り組みやすい環境を整備していきます。

CLT材の生産施設に材料を供給することが可能で、より高い価格での販売が期待できます。

# INTERVIEW 1



西会津町森林組合 参事

は せ が わ と め ぞ う  
**長谷川 留三** さん

●低コスト化のためには高規格な作業道の整備が必要と訴える山の道づくりの専門家

**木** は、大体50年で伐期を迎えます。今、町にある木のほとんどは伐期を迎えています。所有者の境界が分からない、伐採・搬出するための道がないなど、なかなか手を出せないのが現状です。私は、特に伐採・搬出するための道が必要だと考えています。奥山に多くの森林資源があることは分かっているため、この道があるだけで森林の価値はぐんと高まります。また、将来的には、近くの遊休農地を活用して植栽する方法も考えられます。樹種も杉だけでなく、カラマツなどの検討も必要ですね。そうすれば、手入れや伐採、搬出などにかかる費用を抑えることができる

## 「手入れしてよかった」と思えるぐらい、山林の価値や魅力を高めていきたい

き、所有者に還元できる分もさらに増えることになります。低コスト化のしわ寄せは、いつも川上にきます。今は、道を作る際に国や県からの補助がありますが、森林資源を有効に活用するためには、補助があつて成り立つ産業ではなく、採算のとれる、自立した産業にしていかなければなりません。今、森林に魅力を感じている人は少ないと思います。しかし、これからさまざまな取り組みを進めていく中で、森林の所有者が「山を手入れしてよかった」と思えるぐらい還元できる方法を模索し、森林の価値や魅力を高めていければと考えています。

# INTERVIEW 2



舟木製材所

ふ な き  
**舟木 かつい** さん

●女性ならではの視点で、建築材に加え、木工用の製材にも積極的に取り組む女性経営者

## 近

年、住宅の建て方が変わってきていて、職人の数も少なくなってきました。今の建築材は、その多くが出荷する工場ではほとんどの加工を施され、現場では組み立てるだけという「プレカット」が主流になっています。

今、舟木製材所では、主に建築材の製材を行いながら木工用の製材にも取り組んでいます。プレカットを行う設備がないので、もしかしたらこの先、主に行う製材が逆転するかもしれません。でも、新しい需要に応じてやることも、私は必要だと感じています。今回、町の森林資源活用型産業化計画策定委員会の委員

## 町の人が、町の木で、家を建てやすく。町の木がもっと使えるとうれしい

となり、素直にいろいろと勉強になったなと思っています。町で作って町で消費するという考え方には賛成ですし、こういった機会でもないとなかなか同業者の仕事を見る機会はないので、とても興味深かったです。私も、町の木がもっと使えるようになるというなど考えていましたから、今回の計画のように森林資源を活用した産業の流れができることで、町の人が町の木で住宅などを建てやすくなれば、すごく良いと思います。町が計画を実行に移し、オガ粉・燃料生産施設が整備されたときには、町内の製材業者として、できる限り協力していきたいと考えています。



## 魅力ある里山を目指して

### 森

林資源を活用するためには、所有者や境界の問題、伐採作業の担い手不足、伐採・搬出コストの縮減など、さまざまな課題があり、積極的に取り組む市町村が少ないのが現状です。

このような中、国では、市町村が所有者などの情報を林地台帳として整備し、その一部を公表することにより、地権者全員の合意がなくても伐採・再造林が可能な制度を創設しました。さらに、国や県では森林資源の活用に向けたさまざまな支援策を打ち出し、森林が今までになく注目されていることは間違いありません。

本町の森林資源の活用に向け、関係者が検討を重ね、それぞれの役割を果たし、川上から川下まで連携することで、雇用の創出や移住の促進、若者の定住が図られると考えられます。

地域にあるもので雇用を生み出し、安定した所得が得られ、快適に生活できる、魅力ある里山の実現を目指し、協働で取り組んでいきたいと思います。

写真＝飯豊連峰・疣岩山から眺める本町の山林





## 環境センター山都工場で火災発生

# 再確認！ごみの出し方

本年4月、搬入されたごみが原因とみられる火災が環境センター山都工場で発生し、施設の一部を損傷するという重大な事故が起きました。私たちの家庭から出るごみのほとんどは、この環境センター山都工場で処分されています。そのため、このような事故でごみの処理ができなくなると、多くの人の生活に支障を来します。こうした重大な事故が二度と起きないよう、一人一人がごみの分別方法や出し方を再確認しましょう。

今月号では、ごみの出し方の注意点をお知らせします。

写真＝火災で損傷した不燃ごみの破碎・分別処理器





# 特に出し方を注意してほしいごみ

## ガスカートリッジ スプレー缶



ガスカートリッジやスプレー缶などは、中身を使い切り、穴を開けて「燃やせないごみ」に出してください。中身が入ったままだと、収集車の中で圧縮する際や、処理施設で破砕処理する際に火災事故の原因となる場合があります。なお、穴空けは、屋外など通気性の良い場所で行いましょう。



## 乾電池・ライター

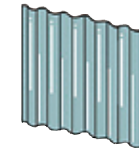


乾電池やライターがごみに混入すると、火災事故の原因となる場合があります。乾電池などは町役場や奥川支所、新郷連絡所、群岡診療所にある回収ボックスに出してください。※おもちゃなどに入っている乾電池も必ず抜き取ってください。



「イラストの出典：経済産業省ウェブサイト」

## 雪囲いなどに使う波トタン



雪囲いなどに使う波トタン類は、自治区のごみステーションに出すことができません。全て粗大ごみ収集時に有料で回収することになりますので、ご注意ください。

## 農業用廃棄物

肥料袋やビニールマルチといった農業廃棄物は、産業廃棄物となるため、自治区のごみステーションに出すことができません。購入店などに処分を依頼してください。



※収集できないごみは、ごみステーション（収集場所）に置いたままになります。持ち帰り、正しく分別・処分をしてください。

※収集できないごみは、ごみステーション（収集場所）に置いたままになります。持ち帰り、正しく分別・処分をしてください。

## ごみ出しも思いやり

ごみは、自分の手を離れてしまうと「もう自分には関係がない」と思い込んでしまいがちですが、自分が出したものは、最後まで自分のものです。ごみ出しには、収集され、処分されるまで責任を持つという心構えが大切です。

分別されていないごみや、正しい日時に出されていないごみなどが、収集されずにごみステーション（収集場所）に置いたままになっていたら、共同でごみステーションを使っている人たちはどのような気持ちになるでしょうか。毎日、気持ちよく使えるよう、思いやりの心を持ってごみ出しを行いましょう。

また、ごみに乾電池や中身の残ったガスカートリッジなどが混入すると、火災や事故の原因となります。火災や事故が発生した場合、施設の損傷によりごみ処理ができなくなるばかりか、人命に関わる重大な事故につながる恐れもあります。ごみを収集する人や、ごみ処理施設で働く人の安全を考えてみましょう。ごみを正しく分別することは、ごみの減量化やごみステーションの衛生を保つだけでなく、事故の防止にもつながります。

## 粗大ごみの収集予定

粗大ごみの収集は年3回、6月、8月、11月に実施する予定です（合わせて、許可業者が鉄くずやタイヤなどの有料ごみを収集します）。

## 古紙類の収集予定

新聞や雑誌などの古紙類の収集は、11月に実施する予定です。

また、古紙類は小中学校のPTAが実施する廃品回収でも収集しますので、ご協力をお願いします。

※詳しい日時は、今後発行する広報紙などでお知らせします。

◎問い合わせ先

町民税務課 ☎45-2215

## 6月は 不法投棄防止 強調月間

廃棄物の不法投棄は法律で禁止されています。不法投棄は土壌や地下水を汚染するなど、環境に悪影響を及ぼします。不法投棄をなくし、地球環境を守りましょう。



## 全力で がんばる姿が 1等賞

西会津小学校大運動会は5月27日、「全力でがんばる姿が1等賞」をスローガンに西会津中学校第1グラウンドで開かれました。心配されていた雨も上がった当日は、徒競走や騎馬戦、玉入れなどの定番競技のほか、運が勝敗を左右するラッキー走や保護者参加型の競技などで紅組と白組が熱戦を繰り広げました。児童の皆さんは、家族の声援を背にグラウンドを思い切り駆け回り、日頃の練習の成果を披露しました。写真=①80メートル走[2年生]／②紅白玉入れ[1・2年生]／③鼓笛パレード[4・5・6年生]／④騎馬戦[5・6年生]／⑤親子で町たんけん[3年生]



## 新緑きらめく参道を散策

第12回心と体の健康ウォークin大山が5月20日に行われ、参加した約180人の皆さんが新緑きらめく参道を散策しながら大山祇神社本社を目指しました。不動滝や大山杉並木参道などを思い思いに歩き、本社に到着した後は、主催の中野区むらおこし実行委員会の皆さんが参加者を豚汁や手打ちそばなどでもてなしました。参加者の皆さんは、夏を思わせる青空の下、心地よい汗を流しました。



## 有事に備える 町総合防災訓練

町では、5月21日に旧尾野本小学校周辺で町総合防災訓練を実施しました。訓練は、大地震が発生し、本町で震度6を観測した想定で行われ、町消防団や西会津消防署などの消防関連団体、喜多方警察署、森野自治区の皆さんが参加しました。倒壊家屋・車両からの救助・救急訓練、ヘリによる救出訓練、放水訓練などが本番さながらに行われたほか、西小少年消防クラブによる初期消火訓練も行われました。





## 春の叙勲 長谷沼さんと江川さんに

平成29年春の叙勲が発令され、町議会議員として7期28年にわたり町勢伸展に尽力された長谷沼清吉さんが旭日双光章を、町消防団員として約48年にわたり町民の生命と安全・安心の確保に尽くされた江川新壽さんが瑞宝双光章を受章しました。長谷沼さんは5月8日に福島市の知事公館で、江川さんは5月15日に東京都港区のニッショーホールでそれぞれ叙勲の伝達を受け、5月18日に伊藤町長に受章を報告しました。写真=右から長谷沼さん、伊藤町長、江川さん、江川さんの妻・君子さん



## 長きにわたり民生委員として尽力

町では、4月19日に厚生労働大臣特別表彰並びに全国民生児童委員連合会表彰伝達式を行い、伊藤町長が白井守守さんに厚生労働大臣特別表彰を伝達し、町民生児童委員協議会の伊藤哲雄会長が白井さんと岩倉洋子さん、猪俣ミヨシさんに全国民生児童委員連合会表彰を伝達しました。白井さんは主任児童委員として、岩倉さんと猪俣さんは民生・児童委員として、15年以上の長きにわたり町の社会福祉増進のため地域福祉活動に尽くされました。写真=伊藤町長から表彰を受け取る白井さん



## ホープス惜敗 西会津球場で公式戦

5月12日、福島ホープス公式戦が福島ホープス西会津球場で開催されました。福島ホープスは2回表に先制を許したものの、4回裏には2点を挙げて逆転し、5回表に2点を奪われるとその裏に1点を返すなど、試合は白熱しました。しかし、最後は一步及ばず、7回に奪われた1点が決勝点となり、3対4で惜しくも新潟アルビレックスBCに敗れました。心待ちにしていた西会津での公式戦初勝利とはなりませんでしたが、白熱した試合展開と選手たちの諦めないプレーは観客に感動を与えました。



## 青空に響くトランペットの音色

5月14日、寺前自然塾の主催で菜の花まつりが開かれました。当日は、「自然に響くトランペットコンサート」と題し、本宮市出身で二本松市在住のトランペット奏者Noby（ノビー）さんによるトランペット演奏が戸中平の菜の花畑で行われました。青空の下、無限に広がるような音色が会場に響き渡り、訪れた皆さんは静かに耳を傾けました。演奏の後には、来場者に豚汁などが振る舞われたほか、にしあいづ観光クルーの撮影会も実施され、黄色いじゅうたんのような花畑に笑顔がはじけました。





平成29年度自治区長会議を開催

# 本年度は32人の新任自治区長に委嘱状を交付



町では、本年度の自治区長会議を4月26日に開催しました。会議では、新たに自治区長となった32人の皆さんを代表し、清水自治区長の長谷沼清吉さんが伊藤町長から委嘱状を受け取りました。その後、伊藤町長が最近の町政の概要を説明して理解と協力をお願いし、新田新也参事兼総務課長と矢部喜代栄企画情報課長が町の主要事業などについて説明しました。

今月号では、自治区と町役場をつなぐ橋渡し役として活動する自治区長の皆さんを紹介します。

## 自治区長の紹介

### 野沢地区

▼1町内 渡部信一 ▼2町内 須藤忠安 ▼3町内 山本眞介 ▼4町内 阿部守夫 ▼5町内 小島洋一 ▼6町内 橋谷田豊 ▼7町内 池田清志 ▼8町内 新澤光男 ▼9町内 1 川口良平 ▼9町内 2 小柳博巳 ▼10町内 橋谷田裕治 ▼下小屋 小柴正意 ▼西平 大沼哲 ▼四岐 大沼喜明 ▼芝草 新田壽重 ▼芹沼 武藤新一 ▼堀越 齋藤俊二 ▼塩喰 清野勇喜 ▼中野 長谷川正美 ▼大久保 清野慶久 ▼牧 江川正文 ▼安座 長谷川隆夫

### 尾野本地区

▼森野 井上清一 ▼西原 渡部幸司 ▼萱本 秦健一 ▼松尾 鈴木静 ▼尾登 齋藤信一 ▼上小島 斎藤順一 ▼下小島 伊勢亀彰 ▼西林 五十嵐幸 ▼西林東 土岐充 ▼さゆりが丘 齋藤彰夫 ▼縄沢 長谷川充 ▼青坂 三留儀行 ▼軽沢 鈴木洋 ▼程窪 新田康弘 ▼泥浮山 伊藤一 ▼長桜 田崎禮吉 ▼山口 安部廣 ▼牛尾 目黒裕介 ▼出ヶ原 佐藤悦美 ▼小杉山 田崎宗作 ▼黒沢 長谷川優

### 群岡地区

▼上野尻 二瓶穰 ▼下野尻 長谷川誠 ▼端村 加藤浩一 ▼

### 新郷地区

徳沢 猪俣静也 ▼宝川 雅楽 川浩吉 ▼白坂 渡部修 ▼屋敷 伊藤優一 ▼榎木平 石川正光 ▼熊沢 佐藤勤一

▼呼賀 仲川友久 ▼平明 仲川徳喜 ▼原 須藤正二 ▼新村 薄俊一 ▼樟山 武藤勝英 ▼滑沢 鈴木好一 ▼滝坂 佐藤久一 ▼柴崎 佐藤清治 ▼橋立 佐藤健一 ▼井谷 薄幸一 ▼八重窪 武藤武次 ▼橋屋 佐藤良喜 ▼戸中 長谷川賢一 ▼高目 長谷沼喜一 ▼小清水 長谷沼清吉 ▼漆窪 橋谷田敬三 ▼荒木 岩橋敬二

### 奥川地区

▼杉山 佐藤時男 ▼向原 鈴木勝則 ▼塩 伊藤重人 ▼新町 井上忠 ▼道目 井上國男 ▼下松 小野木洋一 ▼山浦 橋谷田文男 ▼出戸 長谷川光雄 ▼中ノ沢 矢部昭男 ▼松峯 五十嵐和義 ▼中町 岩橋義平 ▼小山 猪俣泰典 ▼真ヶ沢 宮川源祐 ▼宮野 五十嵐政夫 ▼梨平 玉木達雄 ▼小屋 神田守 ▼極入 長谷川孝男 ▼弥平四郎 篠木留吉 ▼小綱木 荒海勇 ▼大舟沢 五十嵐靖夫

※太字は新任自治区長、全て敬称略



## 町長選挙の日程が決まりました

本年8月4日に迎える町長の任期満了に伴う町長選挙の日程が、5月2日に行われた町選挙管理委員会で決まりました。

なお、投票時間などの具体的な内容については、6月に開かれる選挙管理委員会で決定されます。

◆告示日 **7月4日(火)**

◆投票日 **7月9日(日)**

◆問い合わせ先 町選挙管理委員会 ☎45-2211



## 産後ケア事業を実施しています

町では、産後の育児や授乳などに不安のあるお母さんと子どものために、宿泊または日帰りで育児に関する相談ができる産後ケア事業を実施しています。

詳しくは問い合わせください。

◆利用できる人 産後1年以内で次に当てはまる人

◎母子共に町に住所がある

◎医療行為は必要ないが、育児や体調に不安がある

◆利用料金 無料

◆利用できる期間 日帰り、宿泊共に7日間まで

※1泊2日は2日間と数えます

◆利用可能施設 会津助産師の家おひさま(猪苗代町)、中嶋助産院(南会津町)など

※中通りや浜通りにも利用可能な施設があります

◆提出・問い合わせ先

子育て支援センター(こゆりこども園) ☎45-4332

健康福祉課・健康支援係 ☎45-4532

## 児童手当の受給には現況届の提出が必要です

現況届は、毎年6月1日を基準日に児童手当受給者の状況を把握し、6月分以降の児童手当などを引き続き受給できる要件(児童の監督や保護、生計同一関係など)を満たしているかどうかを確認するための届け出です。対象者には6月上旬に関係書類を送しますので、提出をお願いします。

現況届の提出がない場合は、6月分以降の児童手当を受給できなくなります。忘れずに提出しましょう。

◆提出期限 6月30日(金)

◆必要書類 健康保険被保険者証の写し(国民健康保険に加入している場合は不要です)

※平成29年1月1日時点で本町に住所がなかった場合は、前住所地の市区町村長が発行する児童手当用所得証明書(平成28年所得分)が必要です。

◆提出・問い合わせ先

子育て支援センター(こゆりこども園) ☎45-4332

## 新たに医療・介護相談員を配置

町では、4月1日から新たに医療・介護相談員を西会津診療所に配置しました。

相談員は、診療所の患者や家族の悩みを聞き、解決に向けた支援を行うほか、介護・福祉分野のサービス利用などに関する担当窓口を案内します。また、患者や家族に対する診療所医師の説明をサポートし、専門的な内容を分かりやすく伝えます。

◆相談受付日時 毎週水曜、木曜、金曜日の午前8時30分から午後5時まで

◆問い合わせ先 西会津診療所 ☎45-4228

◆医療・介護相談員

にっ た さち え  
新田 幸恵 さん

患者や家族の皆さんに寄り添った支援を心掛けていきます。何か気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。







## 野澤宿ポケットパークがオープンしました

野沢中央通りに「野澤宿ポケットパーク」がオープンし、町では4月28日にオープン式典を行いました。式典では、伊藤町長が「地域の皆さんの憩いの場として、そして町を訪れる観光客の休憩所として活用し、商店街の活性化につなげたい」とあいさつした後、武藤道廣町会議長、平田紀三男町商工会長が祝辞を述べ、会場を訪れた皆さんには紅白まんじゅうが振る舞われました。



▲オープンを祝いテープカットを行う伊藤町長と来賓の皆さん

このポケットパークは、平成22年度に立ち上げた「野沢まちなか再生プロジェクト」での提案をもとに、平成25年度から国土交通省の補助事業である都市再生整備計画事業を導入し、地元商店会や自治区長によって組織された「ポケットパーク整備にかかる検討会」で施設の内容や規模を協議しながら整備を進めてきました。イベントなどに活用できる「多目的スペース」のほか、商店街を利用する皆さんのための「商店利用者優先駐車スペース」、24時間利用可能な「公衆トイレ」、「ソーラー照明灯」を設置しています。

## 戸籍の窓口【4月受付分】

### まちの人口（5月1日現在）

		(前月比)
人口	6,668人	(- 9人)
男	3,226人	(- 4人)
女	3,442人	(- 5人)
世帯	2,712世帯	(+ 3世帯)

### お誕生おめでとう

橋谷 湊人くん	和洋・めぐみ	芝草
佐藤 蓮飛くん	武・恵美	徳沢
仲川 白菜ちゃん	徳清・綾子	平明



### お悔やみ申し上げます

目黒 ミイ (79) 政雄 妻	8町内	山口 ヤイ子 (92) 政徳 母	徳沢
三留 陽介 (74) 昭博 父	西平	上野 善 (99) 時雄 母	呼賀
山口 幸一 (76) 幸信 父	尾登	佐藤 ミカ (102) 行広 母	橋屋
山口 ミサヲ (99) 幸信 祖母	尾登	三瓶 松子 (83) 常政 母	山浦
新田 忠志 (92) 康弘 父	程窪	高橋 博 (81) 悟 父	出戸
新井田 テルヨ (89) 大 母	小杉山	佐藤 ミイ (89) 喜代隆 母	極入
伊藤 和雄 (66) 雄一 父	上野尻	高橋 サダ (91) 行雄 母	小綱木



## 有料広告欄【詳細は広告主に問い合わせください】

### 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536



## 健康づくりは朝がいちばん

# 健康づくりは朝がいちばん けんこうしゅうくわんを身に付ける

口には、食べることのほか、「話す」「笑う」「呼吸する」「表情をつくる」など、生命活動の維持や、人とのコミュニケーションを取る上で不可欠な役割があります。お口の健康を維持し、食べ物をしっかりと噛むことは、栄養の吸収を促進するだけでなく、唾液をたくさん出して口の中を清潔に保ち、脳を活性化し、認知症を予防するなど、想像以上に私たちの健康に良い影響を与えます。反対に、歯のかみ合わせの不具合は、平衡感覚の低下による転倒や、頭痛・腰痛の原因、瞬発力や集中力を発揮する妨げとなることが分かっています。

高齢になっても、一生おいしく、楽しく、安全に、健やかに活力いっぱいでの食生活を送るために、元気なうちから健口習慣を身に付けましょう。

## 心当たりは ありませんか？ こんな症状

- 硬いものが食べにくい
- 食事に時間がかかるようになった
- 自分の歯、入れ歯を問わず、左右の奥歯をしっかりと噛み締められない
- お茶や汁物などでむせることがある
- 薬などが飲み込みにくくなった
- 食後、口の中に食べ物が残りやすい
- 食べこぼすことがある
- 口が渇きやすい
- 話すときに舌が引っ掛かる
- 口臭が気になる
- 薄味が分かりにくくなった

まずはお口の機能が低下していないかチェックしてみましょう。



※ひとつでも当てはまれば要注意です！

## 「歯磨き」が基本

口腔ケアの基本は歯磨きです。歯磨きをすると虫歯や歯周病のリスクを軽減できるほか、唾液の分泌が促進され、

口の動きが良くなります。口の中の細菌は就寝中に繁殖するので、寝る前の歯磨きは1本ずつ丁寧に磨きましょう。また、食事の前後や口が渇くときにうがい（ブクブクうがい・ガラガラうがい）を行うことも有効です。

入れ歯を使用している場合は、口の中をきれいにしても入れ歯が汚れたままでは清潔を保てません。入れ歯は専用の歯ブラシで毎食後洗い、寝る前には義歯洗浄剤を併用して清潔を保ちましょう。

## お口の体操で 口腔機能アップ

「パ」「タ」「カ」「ラ」の発音を使ったお口の体操で、かむ力や、飲み込む力、唾液の分泌を向上させましょう。「パパ」「タタタタタタ、カカカカカ、ラララララ」と大きな声で発音練習したり、自分の好

きな歌の歌詞をパタカラに変えて歌ったりしてみましょう。

◎唇の筋力を鍛える「パ」  
食べ物を口からこぼさない力を付ける。

◎舌の前方の筋肉を鍛える「タ」  
食べ物を押しつぶし、飲み込む力を付ける。

◎のどの奥の力をトレーニングする「カ」  
食べ物をむせずに食道までスムーズに運ぶ力を付ける。

◎舌の上方の筋肉をトレーニングする「ラ」  
食べ物を口の中で動かし、飲み込みやすくする力を付ける。



## かかりつけ歯科医は 健口生活のパートナー

お口の健康を維持するには、かかりつけの歯科医を持ち、痛みなどの自覚症状がなくて

も定期的にチェックしてもらい、専門的なケアを受けることが大切です。特に入れ歯は、加齢とともにあごの形が変わり、金具が徐々に合わなくなってくるため、定期的な調整が必要です。高齢になっても、ハツラツと自立した生活を送るため、お口からの健康（健口）生活を実践していきましょう。

5月17日、3歳児7人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は3人でした。

すこいな！むし歯のない子



すずね 渡部 涼音ちゃん  
(西原)



そら 江川 空良くん  
(西原)



あやの 山本 彩乃ちゃん  
(9町内1)



学校をさまざまな形で支援するボランティア活動

# 学校支援地域本部事業を紹介します

みなさんは、学校をさまざまな形で支援するボランティア活動が行われていることを知っていますか？町公民館では、これらの活動を組織化して、より効果的に学校を支援するため、学校支援地域本部事業を実施しています。

今月号では、昨年度に本事業で実施した支援活動を紹介합니다。



▶見守り隊 11人からなる「見守り隊」は、登下校中の子どもを事故や犯罪から守るために、学校と協力しながら登下校時の子どもたちを見守る活動を行っています。

▼農家の仕事  
(シイタケハウス見学[西小])



▼農家の仕事  
(サツマイモ掘り体験[西小])



▲西会津の伝統行事を調べよう  
(奥川七観音を巡る[西小])



▲西会津町巡り  
(町の史跡や神社を巡る[西小])



▲昔話を楽しもう  
(語り部による昔話[西小])



▲外部コーチによる部活動支援  
(卓球部、剣道部、文化部など[西中])

地域全体で  
子どもたちの  
学びを支援

学校支援地域本部事業では、学校の要望に応じて、地域の登録ボランティアの皆さんが自分の特技や経験を生かし、地域全体で子どもたちの学びを支援しています。昨年活動した登録ボランティアは約50人いて、その支援内容は22種類にも及び、さまざまな支援活動を行っています。

## 支援活動の流れ

①小・中学校などが学校支援コーディネーター(教育委員会)に講師派遣などの支援を依頼

②活動内容を教職員と協議

③コーディネーターが登録ボランティアの中から活動内容に沿ったサポートができる人を探して支援を依頼

登録ボランティアとして活動してみたい場合などは町公民館に問い合わせください。

町公民館 ☎45-3244





渡邊 昌人 さん [5町内]

中西 広一さん (5月号) からメッセージ  
いつもお世話になっています。

趣味は？ ラジコン

熱中していることは？  
子どもの野球用品の手入れ

あなたのモットーは？  
成功のプロセスは1つではない

これからやってみたいことは？  
増毛

町民

# バトンタッチ

自分を一言で表現するとしたら？  
変わり者

最近感動したことは？  
映画「青空エール」のDVDを見て、一人で泣きそうになりました

次の方を紹介してください  
R・Mさん (上野尻)

宝物は？『野球のグローブ。一目ぼれして購入しました。子どもとキャッチボールをする大切なツールです』



## 聞いて！ わたしの夢

サッカー部 部長  
齋藤 優輝 さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。今月は3年・齋藤優輝さんです。

わたしの夢——

「僕は将来、優しい人になりたいと思っています。将来なりたい職業はまだ決まっていませんし、何になるかは分かりません。でも、まずは優しい人になりたいです。僕は感情に流されやすいタイプで、つい友達をしょうもないことで怒ってしまうことが多々あります。大人になってもこの性格でいるのはまずいと思いますし、優しくすればするほどみんなが笑顔になれると思うので、この目標にしました」

努力していること——

「ほかの人の行動や表情を見て、今何をすべきなのかよく考えて行動するようにしています」

未来の自分に一言——

「とりあえず、頑張れ！」



## 町民 ギャラリー

今月は、四君子会(水墨画)

小柴ヨシ子さんの作品です。

作品名『わが家のくじやく』  
作品介绍『ずっと描きたいと考えていたわが家には20年以上いるくじやく。写真があるわけではないのでなかなかうまくいきませんが、想像を膨らませながら何枚も何枚も描き、やっと念願の一枚が完成しました』





## かっぱ 河童の恩返し

昔、兜石かぶといしの石山にある飛観音とびかんのんの少し下流に、底が測り知れない深い淵がありました。

ある晴れた日の暮れ方、縄沢村の喜四郎という者が、野良仕事の帰りに、淵の川岸に飼葉桶かいばおけを置いて馬に水を飲ませ、少し離れた所で秣まぐさを刈って戻ってみると、飼葉桶がひっくり返っていました。変だなと思い、

元に戻そうとしましたが動きません。困った喜四郎が仲間を呼んで力任せに引っ張ると、なんと中に赤ん坊のような不思議な生き物がへばり付いていました。喜四郎たちは「なんだこれは！魔物だア打ち殺せユ！」と叫んで殺そうとしました。するとこの生き物は、逃げ回りながら「私はこの淵にすむ河童です。決して悪いことはいたしません。ただこの飼葉桶が欲しかっただけです。殺さないでください。命を助けてくだされば、村の水難をなくします。私の力できっとやります」と言うので、村人たちは哀れに思い、河童を淵に帰してやりました。それからというもの、村が水害に見舞われることはなくなったといわれています。

また、ある年は村が凶作で食べ物がなく、餓死する者さえいる始末でみんな困っていました。すると明るる年、山菜採りに行った村人が帰りに通りかかった神社の池で、たくさんの稲束が沈んでいるのを見つけました。稲もみ不足で困っていた村人たちは、その稲束の籾まを持ち帰り苗代に蒔きました。秋になるとそれが黄金波打つ大豊作となり、村人たちは大喜びで「きっと河童が種籾を恵んでくれたに違いない」と河童に感謝しました。その池は「種籾池」と呼ばれ、今も御稷神社の境内の隅に小さく残っています。

参考文献＝『新編会津風土記』（丹藤明「西会津ふるさとの伝説」）



かつて河童がいたといわれる淵付近



今は小さな種籾池

## 今月の表紙

今月の表紙は5月14日に行われた寺前自然塾主催の「菜の花まつり」から。写真の女性は「にしあいづ観光クルー」の齋藤貴子さん(右)と榎本梨奈さん(左)。中央の男性は二本松市出身のトランプペット奏者・Noby(ノビー)さん。  
※11ページに関連記事

## お詫びと訂正

5月号12ページの「こちら西会津交番」で紹介した田部悠大さんのふりがなを「ゆうだい」と記載しましたが、正しくは「ゆうた」です。また、15ページの「町民ギャラリー」で紹介した「尾崎サト子さん」は、正しくは「尾崎サトさん」です。お詫びして訂正します。

## 編集後記

暖かく活動しやすい季節になりました。町内では毎週のように行事やイベントが開催され、日々取材に追われています。この季節は毎日がお出掛け日和ですね。長谷川祐一